2026年3月期　第1四半期決算短信〔IFRS〕（連結）

2025年8月4日

上場会社名　味の素株式会社　　上場取引所　東
コード番号　2802　URL　https://www.ajinomoto.co.jp/company/
代表者　（役職名）代表執行役社長　（氏名）中村　茂雄
問合せ先責任者　（役職名）執行理事グローバル財務部長　（氏名）渡辺　一臣　TEL　03-5250-8111

配当支払開始予定日　ー
決算補足説明資料作成の有無：有
決算説明会開催の有無　：有

（百万円未満切捨て）

1. 2026年3月期第1四半期の連結業績（2025年4月1日～2025年6月30日）

（1）連結経営成績（累計）　（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		事業利益		税引前四半期利益		四半期利益		親会社の所有者に帰属する四半期利益		四半期包括利益合計額	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期第1四半期	364,008	△0.4	47,236	9.7	48,072	20.7	34,926	30.4	32,218	34.4	24,664	△65.7
2025年3月期第1四半期	365,508	7.7	43,073	0.5	39,825	0.6	26,778	△9.6	23,967	△12.0	71,940	△18.1

	基本的1株当たり四半期利益	希薄化後1株当たり四半期利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期第1四半期	32.62	32.62
2025年3月期第1四半期	23.49	23.49

（注）1. 当社グループは、IFRSの適用にあたり、投資家、取締役会及び経営会議が各事業の恒常的な業績や将来の見通しを把握すること、取締役会及び経営会議が継続的に事業ポートフォリオを評価することを目的として、「事業利益」という段階利益を導入しております。
当該「事業利益」は、「売上高」から「売上原価」、「販売費」、「研究開発費」及び「一般管理費」を控除し、「持分法による損益」を加えたものであり、「その他の営業収益」及び「その他の営業費用」を含まない段階利益です。

（注）2. 当社は、2025年4月1日付で普通株式1株につき2株の株式分割を行っております。「基本的1株当たり四半期利益」、「希薄化後1株当たり四半期利益」は、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたものと仮定して算定しております。

（2）連結財政状態

	資産合計	資本合計	親会社の所有者に帰属する持分	親会社所有者帰属持分比率
	百万円	百万円	百万円	%
2026年3月期第1四半期	1,747,492	768,478	702,123	40.2
2025年3月期	1,721,131	813,273	746,804	43.4

（3）連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2026年3月期第1四半期	30,419	△28,983	34,010	197,921
2025年3月期第1四半期	38,111	△14,633	△8,818	191,267

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	ー	40.00	ー	40.00	80.00
2026年3月期	ー				
2026年3月期（予想）		24.00	ー	24.00	48.00

（注）1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

（注）2. 当社は、2025年4月1日付で普通株式1株につき2株の株式分割を行っております。2025年3月期については、当該株式分割前の実際の配当金の額を記載しております。

3. 2026年3月期の連結業績予想（2025年4月1日～2026年3月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		事業利益		親会社の所有者に帰属する当期利益		基本的1株当たり当期利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,618,000	5.7	180,000	13.0	120,000	70.7	123.55

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

① IFRSにより要求される会計方針の変更：無
② ①以外の会計方針の変更 ：無
③ 会計上の見積りの変更 ：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2026年3月期1Q	1,005,637,616株	2025年3月期	1,005,637,616株
② 期末自己株式数	2026年3月期1Q	25,888,558株	2025年3月期	11,237,848株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2026年3月期1Q	987,719,450株	2025年3月期1Q	1,020,279,772株

（注）1. 当社は、2025年4月1日付で普通株式1株につき2株の株式分割を行っております。発行済株式数（普通株式）は、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して算定しております。

（注）2. 期末自己株式数には、当社の役員等を対象とする中期業績連動型株式報酬制度の導入により採用した役員報酬BIP信託が保有する当社株式（2026年3月期1Q 801,600株、2025年3月期 811,200株）が含まれております。また、役員報酬BIP信託が保有する当社株式を、期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めております。

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、本資料の発表日現在における将来の見通し、計画のもととなる前提、予測を含んで記載しており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績は、今後様々な要因によって、大きく異なる結果となる可能性があります。業績予想に関する事項は、添付資料P2.「1. 経営成績等の概況 (1) 当四半期の経営成績の概況」をご参照ください。

（決算補足説明資料の入手方法について）

決算補足説明資料は2025年8月4日（月）に当社ウェブサイトに掲載いたします。

添付資料の目次

1．経営成績等の概況 …… 2
(1) 当四半期の経営成績の概況 …… 2
(2) 当四半期の財政状態の概況 …… 4
(3) 当四半期のキャッシュ・フローの概況 …… 4
(4) 資本の財源及び資金の流動性についての分析 …… 5
2．要約四半期連結財務諸表及び主な注記 …… 6
(1) 要約四半期連結財政状態計算書 …… 6
(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書 …… 8
(3) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書 …… 10
(4) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項 …… 12
（継続企業の前提に関する注記） …… 12
（親会社の所有者に帰属する持分の金額に著しい変動があった場合の注記） …… 12
（セグメント情報） …… 13
（重要な後発事象） …… 15

1. 経営成績等の概況

当社グループは、IFRSの適用に当たり、投資家、取締役会及び経営会議が各事業の恒常的な業績や将来の見通しを把握すること、取締役会及び経営会議が継続的に事業ポートフォリオを評価することを目的として、「事業利益」という段階利益を導入しております。当該「事業利益」は、「売上高」から「売上原価」、「販売費」、「研究開発費」及び「一般管理費」を控除し、「持分法による損益」を加えたものであり、「その他の営業収益」及び「その他の営業費用」を含まない段階利益です。

(1) 当四半期の経営成績の概況

当第1四半期連結累計期間の売上高は、ヘルスケア等セグメントの増収等があったものの、換算為替の影響等により、前年同期を15億円下回る3,640億円（前年同期比99.6%）となりました。事業利益は、ヘルスケア等セグメントの増収効果等により、前年同期を41億円上回る472億円（前年同期比109.7%）となりました。親会社の所有者に帰属する四半期利益は、味の素アルテア社の株式譲渡に伴う在外営業活動体の換算差額の実現等により、前年同期を82億円上回る322億円（前年同期比134.4%）となりました。なお、2025年5月8日に公表しました業績予想の修正は行っておりません。

セグメント別の概況

セグメント別の業績は次のとおりです。

対前年実績	売上高（億円）			事業利益（億円）		
	第148期 第1四半期	前年同期増減	前年同期比	第148期 第1四半期	前年同期増減	前年同期比
調味料・食品	2,133	△9	99.5%	363	12	103.6%
冷凍食品	687	△14	98.0%	28	△11	71.6%
ヘルスケア等	789	8	101.1%	154	38	133.8%
その他	28	0	102.4%	19	0	100.2%
全社共通費（注）	－	－	－	△92	1	98.7%
合計	3,640	△15	99.6%	472	41	109.7%

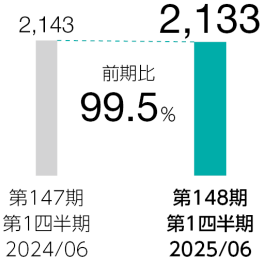
業績予想に対する進捗	売上高（億円）			事業利益（億円）		
	第148期 第1四半期	通期予想	進捗率	第148期 第1四半期	通期予想	進捗率
調味料・食品	2,133	9,592	22.2%	363	1,391	26.1%
冷凍食品	687	3,040	22.6%	28	150	18.7%
ヘルスケア等	789	3,390	23.3%	154	626	24.6%
その他	28	156	18.4%	19	63	30.1%
全社共通費（注）	－	－	－	△92	△432	21.4%
合計	3,640	16,180	22.5%	472	1,800	26.2%

（注）各報告セグメントに帰属しない全社共通費は、従来、マネジメント・アプローチに基づき一定の基準で各報告セグメントに配分しておりましたが、各報告セグメントの業績をより適切に評価するため、当連結会計年度より各報告セグメントに配分しない方法に変更しており、前連結会計年度に当該変更を遡及適用しております。この変更に伴い、前第1四半期連結累計期間における各報告セグメントのセグメント損益は調味料・食品セグメントで46億円、冷凍食品セグメントで10億円、ヘルスケア等セグメントで34億円、その他で1億円増加する一方、各報告セグメントに帰属しない全社共通費で93億円減少しております。なお、各報告セグメントに帰属しない全社共通費は、主に親会社の管理部門にかかる費用です。

① 調味料・食品セグメント

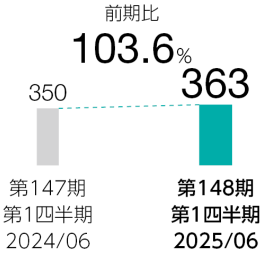
調味料・食品セグメントの売上高は、換算為替の影響等により、前年同期を9億円下回る2,133億円（前年同期比99.5%）となりました。事業利益は、換算為替の影響あるも、単価上昇効果等により、前年同期を12億円上回る363億円（前年同期比103.6%）となりました。

売上高(億円)



＜主要な変動要因＞
・調味料は、全体で前年並み。
　日本は、主に単価上昇効果により増収。
　海外は、販売増も、為替影響により減収。
・栄養・加工食品は、全体で増収。
　日本は、主に単価上昇効果により増収。
　海外は、単価上昇効果あるも、数量減により前年並み。
・ソリューション&イングリディエンツは、販売減に加え、為替影響により減収。

事業利益(億円)

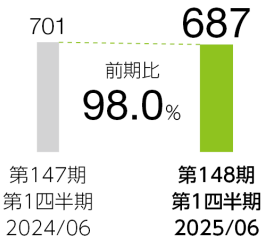


＜主要な変動要因＞
・調味料は、全体で増益。
　日本は、増収も、原材料コスト増加等により減益。
　海外は、為替影響あるも、販売増や製品ミックス改善等により増益。
・栄養・加工食品は、全体で大幅増益。
　日本は、増収効果等により増益。
　海外は、主に単価上昇効果等により増益。
・ソリューション&イングリディエンツは、減収に伴い、全体で減益。

② 冷凍食品セグメント

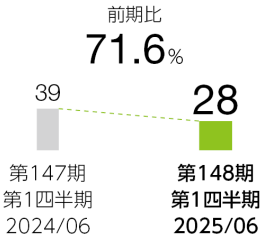
冷凍食品セグメントの売上高は、換算為替の影響等により、前年同期を14億円下回る687億円（前年同期比98.0%）となりました。事業利益は、減収等により、前年同期を11億円下回る28億円（前年同期比71.6%）となりました。

売上高(億円)



＜主要な変動要因＞
・全体で減収。
　日本は、家庭用製品が販売減により、全体で減収。
　海外は、販売増も、為替影響により減収。

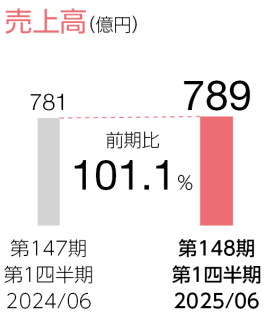
事業利益(億円)



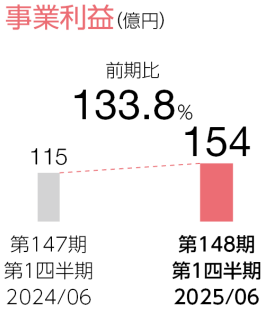
＜主要な変動要因＞
・全体で大幅減益。
　日本は、減収に伴い、減益。
　海外は、戦略的費用の増加や為替影響等により減益。

③ ヘルスケア等セグメント

ヘルスケア等セグメントの売上高は、電子材料の販売好調の影響等により、前年同期を8億円上回る789億円（前年同期比101.1%）となりました。事業利益は、バイオファーマサービス&イングリディエンツの増益や、電子材料の増収効果等により、前年同期を38億円上回る154億円（前年同期比133.8%）となりました。



＜主要な変動要因＞
- バイオファーマサービス&イングリディエンツは、味の素アルテア社売却や為替の影響あるも、医薬用・食品用アミノ酸やバイオファーマサービス（CDMO）の販売増により、全体で増収。
- ファンクショナルマテリアルズ（電子材料等）は、電子材料の販売好調により大幅増収。
- その他は、全体で大幅減収。



＜主要な変動要因＞
- バイオファーマサービス&イングリディエンツは、医薬用・食品用アミノ酸、バイオファーマサービス（CDMO）とも増収効果等により、全体で大幅増益。
- ファンクショナルマテリアルズ（電子材料等）は、大幅増収に伴い大幅増益。
- その他は、戦略的費用の投入等により全体で大幅減益。

④ その他

その他の事業の売上高は28億円（前年同期比102.4%）となり、事業利益は19億円（前年同期比100.2%）となりました。

(2) 当四半期の財政状態の概況

当第1四半期連結会計期間末の資産合計は、前連結会計年度末の1兆7,211億円に対して263億円増加し、1兆7,474億円となりました。これは主として、現金及び現金同等物や棚卸資産の増加によるものです。

負債合計は、前連結会計年度末の9,078億円に対して711億円増加し、9,790億円となりました。これは主として、有利子負債の増加によるものです。有利子負債残高は、コマーシャル・ペーパーの発行等により、前連結会計年度末に対して1,026億円増加し、5,987億円となりました。

資本合計は、主に自己株式の取得により、前連結会計年度末に対して447億円減少しました。資本合計から非支配持分を引いた親会社の所有者に帰属する持分は、7,021億円となり、親会社所有者帰属持分比率は40.2%となりました。

(3) 当四半期のキャッシュ・フローの概況

当第1四半期連結累計期間におけるキャッシュ・フローの状況は、次のとおりです。

営業活動によるキャッシュ・フローは、304億円の収入（前年同期は381億円の収入）となりました。税引前四半期利益が480億円であり、減価償却費及び償却費210億円があったものの、棚卸資産の増加184億円や法人所得税の支払額104億円があったこと等によるものです。

投資活動によるキャッシュ・フローは、289億円の支出（前年同期は146億円の支出）となりました。有形固定資産及び無形資産の取得による支出303億円があったこと等によるものです。

財務活動によるキャッシュ・フローは、340億円の収入（前年同期は88億円の支出）となりました。コマーシャル・ペーパーの発行残高の増加による収入1,100億円があったものの、自己株式の取得による支出466億円、配当金の支払額188億円及び長期借入金の返済による支出78億円があったこと等によるものです。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物の残高は、1,979億円となりました。

(4) 資本の財源及び資金の流動性についての分析

① 資金の流動性について

当第1四半期連結累計期間は短期流動性に関し、コミットメントライン、当座貸越枠、コマーシャル・ペーパー発行枠等の調達手段によって十分な手元流動性を確保しております。

また、十分な手元流動性比率の維持に加え、主要取引銀行と締結しているコミットメントラインにより資金の安全性を確保しており、当第1四半期連結会計期間末のコミットメントラインの未使用額は円貨で1,900億円、外貨で100百万米ドルです。さらに、資金流動性リスク等が発生する可能性のある海外連結子会社に対して、当社が緊急貸付枠を設定し、一時的な資金繰りの支援体制を整備しております。

② 資金の調達

当第1四半期連結累計期間の資金調達は、調達コストとリスク分散の観点による直接金融と間接金融のバランス及び長期と短期の資金調達のバランスを勘案し、事業資金に関し、コマーシャル・ペーパー発行等による資金調達活動を行いました。

③ 資金の使途

当第1四半期連結累計期間の資金の使途は、主として事業資金であります。

2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 要約四半期連結財政状態計算書

（単位：百万円）

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年6月30日)
資産		
流動資産		
現金及び現金同等物	164,776	197,921
売上債権及びその他の債権	174,136	175,194
その他の金融資産	17,990	15,008
棚卸資産	286,952	305,329
未収法人所得税	12,533	13,928
その他の流動資産	27,600	24,765
小計	683,989	732,148
売却目的保有に分類される処分グループに係る資産	17,308	―
流動資産合計	701,298	732,148
非流動資産		
有形固定資産	581,330	574,747
無形資産	92,168	89,692
のれん	117,940	115,698
持分法で会計処理される投資	129,645	129,554
長期金融資産	45,823	50,738
繰延税金資産	10,198	9,045
その他の非流動資産	42,727	45,866
非流動資産合計	1,019,833	1,015,343
資産合計	1,721,131	1,747,492

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （2025年3月31日）	当第1四半期連結会計期間 （2025年6月30日）
負債		
流動負債		
仕入債務及びその他の債務	240,614	228,895
短期借入金	5,923	7,471
コマーシャル・ペーパー	―	110,000
１年内償還予定の社債	24,989	24,992
１年内返済予定の長期借入金	8,234	1,691
その他の金融負債	9,637	9,592
短期従業員給付	47,217	40,166
引当金	4,514	1,695
未払法人所得税	19,923	20,347
その他の流動負債	9,019	14,673
小計	370,075	459,525
売却目的保有に分類される処分グループに係る負債	14,512	―
流動負債合計	384,588	459,525
非流動負債		
社債	204,412	204,434
長期借入金	211,795	209,834
その他の金融負債	46,130	45,871
長期従業員給付	30,443	30,202
引当金	4,267	3,869
繰延税金負債	22,989	21,420
その他の非流動負債	3,230	3,854
非流動負債合計	523,270	519,488
負債合計	907,858	979,013
資本		
資本金	79,863	79,863
資本剰余金	―	92
自己株式	△32,668	△79,267
利益剰余金	590,517	603,083
その他の資本の構成要素	105,838	98,352
売却目的保有に分類される処分グループに係るその他の資本の構成要素	3,253	―
親会社の所有者に帰属する持分	746,804	702,123
非支配持分	66,468	66,354
資本合計	813,273	768,478
負債及び資本合計	1,721,131	1,747,492

(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書

要約四半期連結損益計算書

（単位：百万円）

	前第1四半期連結累計期間 （自　2024年4月 1日 至　2024年6月30日）	当第1四半期連結累計期間 （自　2025年4月 1日 至　2025年6月30日）
売上高	365,508	364,008
売上原価	△232,108	△224,999
売上総利益	133,400	139,008
持分法による損益	2,319	3,128
販売費	△48,468	△48,992
研究開発費	△7,537	△7,345
一般管理費	△36,639	△38,562
事業利益	43,073	47,236
その他の営業収益	1,418	5,293
その他の営業費用	△3,685	△3,149
営業利益	40,805	49,380
金融収益	2,564	2,247
金融費用	△3,545	△3,555
税引前四半期利益	39,825	48,072
法人所得税	△13,047	△13,145
四半期利益	26,778	34,926
四半期利益の帰属：		
親会社の所有者	23,967	32,218
非支配持分	2,810	2,708
1株当たり四半期利益		
基本的1株当たり四半期利益（円）	23.49	32.62
希薄化後1株当たり四半期利益（円）	23.49	32.62

要約四半期連結包括利益計算書

（単位：百万円）

	前第1四半期連結累計期間 （自　2024年4月 1日 至　2024年6月30日）	当第1四半期連結累計期間 （自　2025年4月 1日 至　2025年6月30日）
四半期利益	26,778	34,926
その他の包括利益（税効果後）		
純損益に振り替えられることのない項目		
その他の包括利益を通じて測定する金融資産の公正価値の純変動	284	1,356
確定給付制度の再測定	655	901
持分法適用会社における持分相当額	111	55
純損益に振り替えられる可能性のある項目		
キャッシュ・フロー・ヘッジ	267	△204
ヘッジコスト剰余金	11	△92
在外営業活動体の換算差額	44,664	△11,979
持分法適用会社における持分相当額	△833	△299
その他の包括利益（税効果後）	45,161	△10,262
四半期包括利益	71,940	24,664
四半期包括利益の帰属:		
親会社の所有者	65,691	21,692
非支配持分	6,249	2,971

(3) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：百万円）

	前第1四半期連結累計期間 （自　2024年4月 1日 至　2024年6月30日）	当第1四半期連結累計期間 （自　2025年4月 1日 至　2025年6月30日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期利益	39,825	48,072
減価償却費及び償却費	21,437	21,031
減損損失及び減損損失戻入益	349	321
従業員給付の増減額	△5,562	△7,311
引当金の増減額	△2,430	△3,260
受取利息及び受取配当金	△2,067	△1,916
支払利息	1,514	1,801
持分法による損益	△2,319	△3,128
有形固定資産及び無形資産の除売却損益	400	816
売上債権及びその他の債権の増減額	8,755	△395
仕入債務及びその他の債務の増減額	△5,452	3,699
棚卸資産の増減額	△15,847	△18,424
その他の資産及び負債の増減額	△395	5,896
その他	2,570	△7,877
小計	40,776	39,325
利息及び配当金の受取額	3,125	3,148
利息の支払額	△1,027	△1,623
法人所得税の支払額	△4,763	△10,431
営業活動によるキャッシュ・フロー	38,111	30,419
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産及び無形資産の取得による支出	△22,964	△30,393
有形固定資産及び無形資産の売却による収入	1,252	117
金融資産の取得による支出	△413	△3,045
金融資産の売却による収入	7,790	3,172
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による収入	―	1,995
その他	△298	△830
投資活動によるキャッシュ・フロー	△14,633	△28,983

（単位：百万円）

	前第1四半期連結累計期間 （自　2024年4月 1日 至　2024年6月30日）	当第1四半期連結累計期間 （自　2025年4月 1日 至　2025年6月30日）
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の増減額	△88,803	2,100
コマーシャル・ペーパーの増減額	57,000	110,000
長期借入れによる収入	97,006	―
長期借入金の返済による支出	△7,244	△7,835
配当金の支払額	△18,519	△18,811
非支配持分への配当金の支払額	△11,292	△2,588
自己株式の取得による支出	△34,497	△46,619
リース負債の返済による支出	△2,485	△2,255
その他	17	19
財務活動によるキャッシュ・フロー	△8,818	34,010
現金及び現金同等物の換算差額	5,071	△2,300
現金及び現金同等物の増減額	19,729	33,145
現金及び現金同等物の期首残高	171,537	164,776
現金及び現金同等物の四半期末残高	191,267	197,921

(4) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（親会社の所有者に帰属する持分の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（セグメント情報）

(1) 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、主として製品別のセグメントから構成されており、「調味料・食品」、「冷凍食品」、「ヘルスケア等」の3つを報告セグメントとしております。

いずれの報告セグメントも、当社グループの構成単位のうち、分離された財務情報が入手可能であり、経営会議が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものです。

各報告セグメントに帰属しない全社共通費は、従来、マネジメント・アプローチに基づき一定の基準で各報告セグメントに配分しておりましたが、各報告セグメントの業績をより適切に評価するため、当連結会計年度より各報告セグメントに配分しない方法に変更しており、前連結会計年度に当該変更を遡及適用しております。この変更に伴い、前第1四半期連結累計期間における各報告セグメントのセグメント損益は調味料・食品セグメントで4,638百万円、冷凍食品セグメントで1,056百万円、ヘルスケア等セグメントで3,482百万円、その他で187百万円増加する一方、各報告セグメントに帰属しない全社共通費で9,365百万円減少しております。なお、各報告セグメントに帰属しない全社共通費は、主に親会社の管理部門にかかる費用です。

各報告セグメントに属する製品の種類は、以下のとおりです。

報告セグメント	製品区分	主要製品
調味料・食品	調味料	うま味調味料「味の素®」、「ほんだし®」、「Cook Do®」、 「味の素KKコンソメ」、「ピュアセレクト® マヨネーズ」、 「Ros Dee®」（風味調味料）、「Masako®」（風味調味料）、 「Aji-ngon®」（風味調味料）、「Sazon®」（風味調味料）、 「SAJIKU®」（メニュー用調味料）、 「CRISPY FRY®」（メニュー用調味料）等
	栄養・加工食品	「クノール® カップスープ」、 「Yum Yum®」（即席麺）、「Birdy®」（コーヒー飲料）、 「Birdy®3in1」（粉末飲料）、 「Blendy®」ブランド品（「CAFÉ LATORY®」、スティックコーヒー等）、 「MAXIM®」ブランド品、「ちょっと贅沢な珈琲店®」ブランド品、 ギフト各種、オフィス飲料（カップ自販機、給茶機）等
	ソリューション&イングリディエンツ	国内外食用・食品加工業用うま味調味料「味の素®」、 外食用調味料・加工食品、 加工用調味料（天然系調味料、酵素製剤「アクティバ®」）、 弁当・惣菜、ベーカリー製品、核酸系調味料、 甘味料（加工用アスパルテーム等）等
冷凍食品	冷凍食品	餃子類（「ギョーザ」、「POT STICKERS」等）、 米飯類（「ザ★®チャーハン」、「CHICKEN FRIED RICE」等）、 麺類（「YAKISOBA」、「RAMEN」等）、 スイーツ類（業務用ケーキ、「MACARON」等）、 焼売類（「ザ★®シュウマイ」、「エビシューマイ」等）、 鶏肉加工品類（「やわらか若鶏から揚げ」、「ザ★®から揚げ」等）等
ヘルスケア等	医薬用・食品用アミノ酸	医薬用・食品用アミノ酸、培地
	バイオファーマサービス（CDMO）	医薬品中間体及び原薬等の受託開発製造サービス
	ファンクショナルマテリアルズ（電子材料等）	電子材料（半導体パッケージ用層間絶縁材料「味の素ビルドアップフィルム®（ABF）」等）、 機能性材料（接着剤「プレーンセット®」、 磁性材料「AFTINNOVA® Magnetic Film」等）、活性炭、離型紙等
	その他	飼料用アミノ酸、 スポーツニュートリション（サプリメント（「アミノバイタル®」）等）、 パーソナルケア素材（アミノ酸系洗浄剤「アミソフト®」、アミノ酸系メークアップ用油剤「エルデュウ®」・粉剤「アミホープ®」等）、 メディカルフード、農業サービス等

(2) セグメント売上高及び業績

当社グループの報告セグメントによる売上高及び業績は以下のとおりです。

なお、セグメント間の内部売上高は、主に第三者間取引価格に基づいております。

前第1四半期連結累計期間（自　2024年4月1日　至　2024年6月30日）

（単位：百万円）

	報告セグメント			その他（注）1	計	調整額（注）2	要約四半期連結財務諸表計上額
	調味料・食品	冷凍食品	ヘルスケア等				
売上高							
外部顧客に対する売上高	214,383	70,164	78,149	2,811	365,508	―	365,508
セグメント間の内部売上高	1,886	89	1,294	9,054	12,324	△12,324	―
計	216,270	70,254	79,443	11,865	377,833	△12,324	365,508
持分法による損益	283	―	36	1,998	2,319	―	2,319
セグメント利益又は損失（事業利益又は事業損失）	35,067	3,928	11,519	1,923	52,438	△9,365	43,073

その他の営業収益	1,418
その他の営業費用	△3,685
営業利益	40,805
金融収益	2,564
金融費用	△3,545
税引前四半期利益	39,825

（注）1. 「その他」には、提携事業及びその他サービス事業が含まれております。

（注）2. セグメント利益又は損失の調整額は、各報告セグメントに帰属しない全社共通費です。全社共通費は、主に親会社の管理部門にかかる費用です。

当第1四半期連結累計期間（自　2025年4月1日　至　2025年6月30日）

（単位：百万円）

	報告セグメント			その他（注）1	計	調整額（注）2	要約四半期連結財務諸表計上額
	調味料・食品	冷凍食品	ヘルスケア等				
売上高							
外部顧客に対する売上高	213,387	68,752	78,989	2,878	364,008	―	364,008
セグメント間の内部売上高	2,097	126	1,434	6,759	10,418	△10,418	―
計	215,485	68,879	80,424	9,637	374,427	△10,418	364,008
持分法による損益	1,161	―	△35	2,002	3,128	―	3,128
セグメント利益又は損失（事業利益又は事業損失）	36,332	2,812	15,412	1,926	56,484	△9,247	47,236

その他の営業収益	5,293
その他の営業費用	△3,149
営業利益	49,380
金融収益	2,247
金融費用	△3,555
税引前四半期利益	48,072

（注）1. 「その他」には、提携事業及びその他サービス事業が含まれております。

（注）2. セグメント利益又は損失の調整額は、各報告セグメントに帰属しない全社共通費です。全社共通費は、主に親会社の管理部門にかかる費用です。

（重要な後発事象）

該当事項はありません。